

第3期船橋市障害福祉計画の 目標値に対する実績

策定から2年を経過して

平成26年3月

— 目 次 —

| | |
|--------------------------|---|
| 第3期船橋市障害福祉計画の達成状況の点検及び評価 | 1 |
|--------------------------|---|

障害福祉サービス等の提供による平成26年度の目標値に対する進捗状況

| | |
|----------------------|---|
| 1 地域生活に移行する施設入所者の数 | 3 |
| 2 一般就労に移行する福祉施設利用者の数 | 8 |

障害福祉サービスの見込み量と実績

| | |
|----------------|----|
| 1 指定障害福祉サービス | 15 |
| (1) 訪問系サービス | 15 |
| (2) 日中活動系サービスⅠ | 16 |
| (3) 日中活動系サービスⅡ | 17 |
| (4) 日中活動系サービスⅢ | 17 |
| (5) 居住系サービス | 18 |
| 2 指定相談支援 | 19 |

地域生活支援事業の見込み量と実績

| | |
|-------------------|----|
| (1) 相談支援事業 | 20 |
| (2) コミュニケーション支援事業 | 21 |
| (3) 日常生活用具給付等事業 | 22 |
| (4) 移動支援事業 | 23 |
| (5) 地域活動支援センター事業 | 24 |
| (6) その他の事業 | 25 |

| | |
|------------------------------|----|
| 第4期船橋市障害福祉計画の策定と基本指針の見直しについて | 27 |
|------------------------------|----|

第3期船橋市障害福祉計画の達成状況の 点検及び評価

第3期船橋市障害福祉計画は、平成24年度から平成26年度において、平成26年度を最終目標年次とした具体的な数値目標や、各年度における障害福祉サービス等の見込み量を設定し、本市における障害者施策の一層の充実を図るために策定しました。

第3期船橋市障害福祉計画の策定から2年が経過し、本計画に対する進捗状況を確認するために計画達成状況の点検及び評価を行います。

なお、計画達成状況の確認のため、第3期船橋市障害福祉計画上で定めていない平成24年度の参考目標値を設定している項目があります。第3期船橋市障害福祉計画上で定めていない参考目標値についてはそれぞれのページで説明を加えています。

また、各項目で実績の時間軸が異なりますので、どの時点での実績であるかについてもそれぞれのページで説明を加えます。

障害福祉サービス等の提供による 平成26年度の目標値に対する進捗状況

障害福祉サービス等の提供による平成26年度の目標値については国から目安となる指針が示されています。

「障害福祉サービス及び相談支援並びに市町村及び都道府県の地域生活支援事業の提供体制の整備並びに自立支援給付及び地域生活支援事業の円滑な実施を確保するための基本的な指針（平成18年厚生労働省告示第395号）」における平成26年度における目標値は、以下の通りです。

なお、国の指針を基に第3期船橋市障害福祉計画では船橋市の実態に合わせた平成26年度の目標値を定めています。

| 項 目 | | 目 標 値 |
|-----|------------------|--|
| 1 | 入所者の地域生活への移行 | 平成17年10月1日時点の施設入所者数の3割以上が地域生活へ移行 |
| | 入所者数の削減 | 平成26年度末の施設入所者数を平成17年10月1日時点の施設入所者数から1割以上削減 |
| 2 | 就労移行の促進 | |
| | ① 福祉施設から一般就労への移行 | 平成17年度の一般就労への移行実績の4倍以上 |
| | ② 就労移行支援事業の利用者 | 平成26年度末における福祉施設利用者の2割以上が利用 |
| | ③ 就労継続支援事業の利用者 | 平成26年度末において就労継続支援事業利用者の3割以上がA型を利用 |

1 地域生活に移行する施設入所者の数
（「第3期船橋市障害福祉計画」の19ページ）

【目標値】

| 項目 | | 数値 | 考え方 |
|------------------|------------|---------|-------------------------------|
| 第1期計画策定時の入所者数（A） | | 352 人 | 平成17年10月1日時点での数値 |
| 平成26年度入所者数（B） | | 325 人 | 平成26年度末見込み |
| 目標値 | 削減見込み（A-B） | 27 人 | 入所者の削減数 （（A-B）/A） |
| | | (8) (%) | |
| | 地域生活移行数（C） | 26 人 | 平成24年度参考目標値（※1） |
| | | 41 人 | 施設からグループホーム等に移行する者の数 （C/A） |
| (12) (%) | | | |
| | | 36 人 | 平成24年度参考目標値（※2） |

※1 平成23年10月時点で削減数24人のため、平成26年度までに平均的に削減するものと仮定し、参考目標値を26人としました。

※2 平成17年10月1日から平成22年度末までの間で地域生活移行数が30人のため、平成26年度までに平均的に移行するものと仮定し、参考目標値を36人としました。

【実績値】

| 項目 | | 数値 | 考え方 |
|-------------------|-----------------|------------------|-------------------------------------|
| 平成24年度入所者数 (D) | | 285 人 | 平成24年度末実績 |
| 24年度 の実績 | 削減実績 (A-D) | 67 人 (19) (%) | 入所者の削減数 ((A-D) / A) |
| | 地域生活 移行数 (E) | 45 人 (13) (%) | 施設からグループホーム等に 移行する者の数 (E / A) |

入所者数について

平成24年度末（平成25年3月末）時点の入所支援施設の利用者は285人で、平成26年度末の削減見込み目標値325人を40人上回る結果となっています。

地域生活移行者数

平成17年10月1日から平成23年度末までの実績・・・35人
平成24年度中の実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・10人

※地域生活への移行者数は、実績が延べ人数となっているので、平成23年度までの実績に平成24年度の実績を加えた45人が、計画における実績となります。

○調査方法

調査の対象事業所：

平成25年2月末時点で、船橋市援護者の利用実績のある73事業所。
（施設入所支援・宿泊型自立訓練）

照会及び回答方法：

文書及びメール（市内の事業所）にて照会し、郵送・FAX・メールによる回答を求めました。

調査及び回答の期間：

平成25年7月5日（金）～7月31日（水）

○平成24年度中の実績内訳について

地域生活への移行者は、18人の実績がありました。そのうち、当計画の実績となりうる平成17年10月1日時点（基準日）の入所者は、10人でした。

| 事業者名 | 集計結果 | 移行先 | | | 基準日の 入所者 |
|-------------------------|------|-----|----|----|-------------|
| | | GH | CH | 住宅 | |
| ㊦小池更生園（八千代市） | 4 | | 4 | | 3 |
| ㊦袖ヶ浦学園（袖ヶ浦市） | 2 | 2 | | | 2 |
| ㊦アドバンスながうら（袖ヶ浦市） | 1 | 1 | | | |
| ㊦大久保学園 | 3 | | 3 | | 3 |
| ㊦のまる | 1 | | 1 | | 1 |
| ㊦千葉光の村授産園（千葉市若葉区） | 1 | | | 1 | 1 |
| ㊦医療法人社団健仁会ひまわり苑 | 3 | | | 3 | |
| ㊦生活訓練施設ばんぶーはうす （館山市） | 1 | | | 1 | |
| ㊦こころの風元気村（千葉市緑区） | 2 | 1 | | 1 | |
| 合 計 | 18 | 4 | 8 | 6 | 10 |

㊦知的障害者の利用事業所

㊦精神障害者の利用事業所

調査対象の73事業所のうち、地域移行の実績があったのは9事業所で、全体の12%ほどになっています。

基準日時点の入所者で地域生活へ移行した数としては、大久保学園の3人、小池更生園の3人が多くなっており、平成24年4月に開所しました、大久保学園の定員10人の原宿ホーム式番館（共同生活援助・共同生活介護一体型事業所）、平成24年7月に小池更生園の運営法人である社会福祉法人心聖会が開所したこいけホーム（共同生活介護事業所）への移行が要因となっています。

地域移行の実績があがっている事業所のうち、医療法人社団健仁会ひまわり苑、生活訓練施設ばんぶーはうす、こころの風元気村は宿泊型自立訓練事業所であり、住宅へ地域移行した6人中5人が宿泊型自立訓練事業所からの移行となっています。宿泊型自立訓練は原則として2年間での訓練が前提となっているため、短期間で地域移行がなされていると考えられます。

○障害別の地域移行状況について

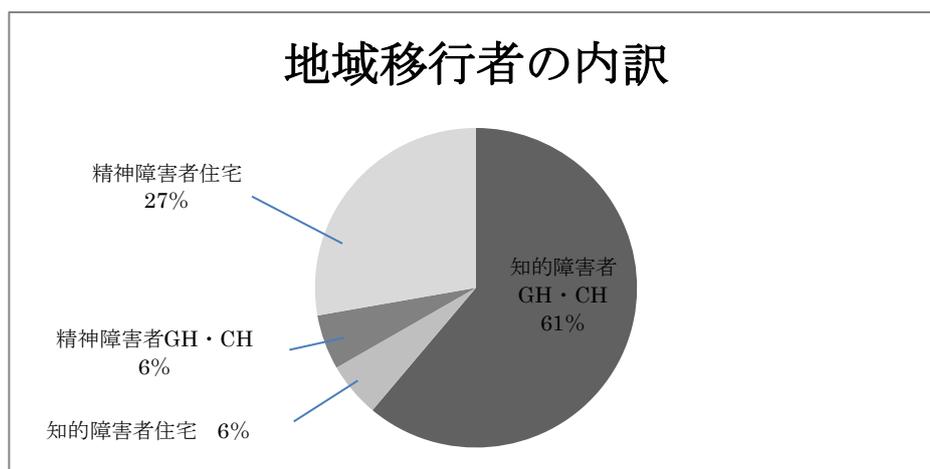
知的障害者の利用事業所→のまる、大久保学園、小池更生園
袖ヶ浦学園、アドバンスながうら、
千葉光の村授産園
合計12人（地域移行者の67%）

精神障害者の利用事業所→医療法人社団健仁会ひまわり苑、
（宿泊型自立訓練）生活訓練施設ばんぶーはうす、
こころの風元気村
合計6人（地域移行者の33%）

地域移行者の内訳をみると、知的障害者のグループホーム等への移行が多くなっています。施設入所支援の運営法人が新規のグループホーム等を開所すると、長期の入所者についても複数名グループホーム等への移行がなされる傾向があります。

反対に、精神障害者については住宅への移行が主な移行先となっております。

身体障害者の地域移行の実績はあがっておらず、事業所からの意見にもあるように、バリアフリー住宅等の整備が必要であると考えられます。



○調査対象事業所からの意見等

- ・ 単身で車椅子生活のためにバリアフリーの住まいを探していたが、マンションなどではあったが家賃が高く、生活保護や障害年金生活者では借りることが難しい。バリアフリーの公営住宅の整備や一般のアパートでもバリアフリーのアパートが増えるような働きかけをお願いしたい。
- ・ 重度の高齢者の方には、24時間のヘルパー付きホームでないと暮らしていけないと思う。
- ・ 施設利用者で単身生活者の割合が増加している中、退所後の地域生活で一人暮らしが難しい場合にグループホームやケアホームの利用を希望する方が多くなっている。グループホームやケアホームが少ないためになかなか住まいが決まらず入所が延びているケースもあるため、グループホームやケアホームが増えるような働きかけをお願いしたい。
- ・ 土地・建物への資金が多くかかる。

2 一般就労に移行する福祉施設利用者の数

（「第3期船橋市障害福祉計画」の22ページ）

①福祉施設から一般就労への移行者数

【目標値】

| 項目 | 数値 | 考え方 |
|------------------------|-------------------|-----------------------------------|
| 第1期計画策定時の年間一般就労移行者数（A） | 9 人 | 平成17年度において福祉施設（※1）を退所し、一般就労した者の数 |
| 平成26年度の年間一般就労移行者数（B） | 36 人 (400) (%) | 平成26年度において福祉施設から一般就労に移行した者の数（B/A） |
| 平成24年度の年間一般就労移行者数目標値 | 36 人 (400) (%) | 参考目標値（※2） |

※1 一般就労移行者数の項目における福祉施設とは、生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援を行う事業所、地域活動支援センター、市で独自に補助を行っている心身障害者福祉作業所です。

※2 平成22年度時点で、年間移行者数が42人であったため、平成26年度の目標値と同値の36人を平成24年度の参考目標値としました。

【実績値】

| 項目 | 数値 | 考え方 |
|-----------------------|-------------------|--------------------------------------|
| 平成24年度の年間一般就労移行者数（B'） | 66 人 (733) (%) | 平成24年度において福祉施設から一般就労に移行した者の数（B' / A） |

平成24年度の一般就労移行者数は66人と、平成26年度の目標値を上回る結果となりました。

○調査方法

調査の対象事業所：

平成25年2月末時点で、船橋市援護者の利用実績のある193事業所。
（就労移行支援、就労継続支援A・B型、生活介護、地域活動支援センター、
心身障害者福祉作業所）

照会及び回答方法：

文書及びメール（市内の事業所）にて照会し、郵送・FAX・メールによる
回答を求めました。

調査及び回答の期間：

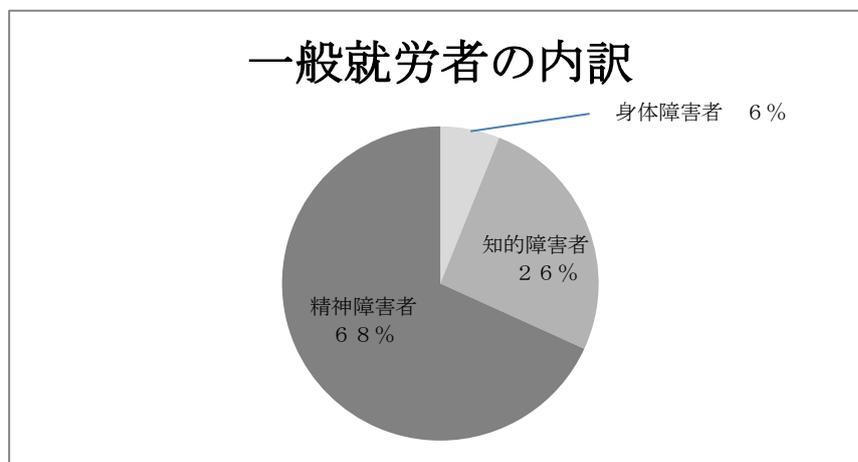
平成25年7月5日（金）～7月31日（水）

○平成24年度の実績内訳について

| 事業者名 | サービス種類 | 集計 結果 | 障害区分 | | |
|----------------------|--------|----------|------|----|----|
| | | | 身体 | 知的 | 精神 |
| 更生園 | 就労移行支援 | 1 | 1 | | |
| ウイングル千葉センター | 就労移行支援 | 1 | | | 1 |
| あかね園 | 就労移行支援 | 10 | | 10 | |
| アドバンスながうら | 就労移行支援 | 1 | | 1 | |
| ウイングル松戸センター | 就労移行支援 | 1 | | | 1 |
| ひゅーまにあ鎌ヶ谷 | 就労移行支援 | 2 | 1 | | 1 |
| サンワークL事業所 | 就労移行支援 | 1 | | | 1 |
| 障害者就業サポートセンター ビルド | 就労移行支援 | 8 | | | 8 |
| 光風みどり園 | 就労移行支援 | 1 | | 1 | |
| ワーカーズハウスぐらす | 就労移行支援 | 3 | | 1 | 2 |
| みらい工芸館 | 就労移行支援 | 2 | | 2 | |
| ワークアイ・ジョブサポート | 就労移行支援 | 1 | | | 1 |
| ウイングル船橋センター | 就労移行支援 | 10 | 1 | | 9 |
| EOS ファーム船橋 | 就労移行支援 | 1 | | | 1 |

| | | | | | |
|-----------------------|----------------|----|---|----|----|
| ロクマル ジョブサ船橋 | 就労移行支援 | 3 | | | 3 |
| ウェルビー西船橋駅前センター | 就労移行支援 | 5 | 1 | | 4 |
| 就職するなら明朗塾 | 就労移行支援 | 1 | | 1 | |
| クローバース・ピア日本橋 | 就労継続支援（A型） | 2 | | | 2 |
| あくあ | 就労継続支援（B型） | 1 | | 1 | |
| 障がい福祉サービス事業所 こんぼーる | 就労継続支援（B型） | 2 | | | 2 |
| 生活訓練施設ばんぶーはうす | 自立訓練（生活訓練） | 1 | | | 1 |
| グラ－ヌスケアセンター | 自立訓練（生活訓練） | 1 | | | 1 |
| 地域活動支援センターアーモ | 地域活動 支援センター | 3 | | | 3 |
| 地域活動支援センター カレーサ | 地域活動 支援センター | 1 | | | 1 |
| 希望の鐘福祉作業所 | 地域活動 支援センター | 1 | | | 1 |
| 船橋市地域活動支援センター | 地域活動支援 センター | 1 | | | 1 |
| 西船橋ワークショップ | 心身障害者 福祉作業所 | 1 | | | 1 |
| | 合 計 | 66 | 4 | 17 | 45 |

○障害別の一般就労状況について



身体障害者→ 4人（一般就労者の 6%）
知的障害者→ 17人（一般就労者の26%）
精神障害者→ 45人（一般就労者の68%） 合計66人

前年度の一般就労者数は43人であり、前年度と比較すると一般就労者が23人増えているため、着実に一般就労が進んでいます。障害別の一般就労の内訳については前年度とほぼ同じ割合となっています。

就労移行支援事業所からの一般就労が中心となっていますが、就労継続支援事業所、自立訓練事業所、地域活動支援センター、心身障害者福祉作業所と幅広いサービス種類からの一般就労が見受けられます。

○調査対象事業所からの意見等

- ・ 障害者就業・生活支援センターからの実習、体験の紹介を積極的にして頂きたい。
- ・ 一般就労への移行にあたり、市内の企業での実習を事業所と協力して進めるなど、両者が協力して行う仕組みづくりができるとうい。
- ・ 定着支援においては半年がサポート期間だが、半年ではニーズにこえられない。障害者就業・生活支援センターとも連携し、長期的な就労を後押ししたい。
- ・ 聴覚障害に加え、知的、視覚、身体、精神など重複障害の方が主に利用しているが、就労移行に際し、手話、触手話、筆談などコミュニケーション支援の面で安心した環境を提供できるよう取り組んで頂きたい。

②就労移行支援事業の利用者数

【目標値】

| 項目 | 数値 | 考え方 |
|---------------------------------|-------------------|--|
| 平成26年度末の福祉施設（※1）利用見込者数（C） | 1,492 人 | 生活介護事業所、自立訓練事業所、就労移行支援事業所、就労継続支援事業所が対象 |
| 平成25年度の福祉施設利用見込者数 | 1,442 人 | 目標値（※2） |
| 上記（C）のうち平成26年度末の就労移行支援事業利用者数（D） | 172 人 (12) (%) | (D/C) |
| 平成25年度の就労移行支援事業利用者数 | 162 人 (11) (%) | 目標値（※2） |

※1 福祉施設利用見込者数の項目における福祉施設とは、生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援を行う事業所となります。

※2 平成25年10月1日時点の目標値となります。

【実績値】

| 項目 | 数値 | 考え方 |
|----------------------------------|-------------------|--|
| 平成25年度の福祉施設利用者数（C'） | 1,557 人 | 生活介護事業所、自立訓練事業所、就労移行支援事業所、就労継続支援事業所が対象 |
| 上記（C'）のうち平成25年度の就労移行支援事業利用者数（D'） | 222 人 (14) (%) | (D' / C') |

※ 平成25年10月1日時点の実績値となります。

平成25年度の時点で、福祉施設利用見込者数、就労移行支援事業利用者数ともに本市の平成26年度の目標値を上回っています。

就労移行支援事業利用者数の伸びも顕著であるため、厚生労働省の指針である「福祉施設利用見込者数のうち2割以上が就労移行支援事業を利用する」という目標にも近づいています。

③就労継続支援事業の利用者数

【目標値】

| 項目 | 数値 | 考え方 |
|--------------------------|-----------------|--------------------|
| 平成26年度末の就労継続支援事業利用者数（E） | 449 人 | A型= 37人 B型=412人 |
| 平成25年度の就労継続支援利用者数 | 419 人 | 目標値（※） |
| 上記EのうちA型（雇成型）利用者数（F） | 37 人 (8) (%) | (F/E) |
| 平成25年度の就労継続支援A型（雇成型）利用者数 | 32 人 (8) (%) | 目標値（※） |

※ 平成25年10月1日時点の目標値となります。

【実績値】

| 項目 | 数値 | 考え方 |
|-------------------------|------------------|--------------------|
| 平成25年度の就労継続支援事業利用者数（E'） | 454 人 | A型= 50人 B型=404人 |
| 上記EのうちA型（雇成型）利用者数（F'） | 50 人 (11) (%) | (F'/E') |

※ 平成25年10月1日時点の実績値となります。

厚生労働省の指針としては平成26年度末において就労継続支援事業利用者の3割以上がA型（雇成型）を利用するという指針になっておりますが、本市においては、平成26年度末に、就労継続支援事業利用者のうち、8%がA型を利用することを目標としています。

平成25年度の時点で、平成26年度末の就労継続支援A型（雇成型）の利用者数の目標値を上回っています。

障害福祉サービスの見込み量と実績

1 指定障害福祉サービス

（「第3期船橋市障害福祉計画」の26ページ）

※障害福祉サービスの実績については、平成25年10月1日の数値を掲載しています。

（1）訪問系サービス（「第3期船橋市障害福祉計画」の26ページ）

第3期計画の見込み量と実績（上段が第3期計画の見込み量、下段の網掛け部分が実績）

| サービス | 平成24年度 | 平成25年度 | 考え方 |
|----------------|--------|--------|----------|
| 居宅介護 | 18,424 | 19,707 | 延べ支給時間/月 |
| | 18,641 | 23,760 | |
| | 560 | 599 | 支給人数/月 |
| | 577 | 649 | |
| 重度訪問介護 | 8,694 | 8,832 | 延べ支給時間/月 |
| | 9,305 | 10,279 | |
| | 63 | 64 | 支給人数/月 |
| | 60 | 62 | |
| 同行援護 | 7,800 | 8,050 | 延べ支給時間/月 |
| | 7,529 | 8,116 | |
| | 156 | 161 | 支給人数/月 |
| | 152 | 168 | |
| 行動援護 | 2,385 | 2,531 | 延べ支給時間/月 |
| | 2,585 | 2,613 | |
| | 65 | 69 | 支給人数/月 |
| | 68 | 69 | |
| 重度障害者等 包括支援 | 0 | 0 | 延べ支給時間/月 |
| | 0 | 0 | |
| | 0 | 0 | 支給人数/月 |
| | 0 | 0 | |

平成25年度における訪問系サービスの支給人数及び月間延べ支給時間は、居宅介護及び重度訪問介護について、実績が見込み量を上回っています。

同行援護及び行動援護についてはおおむね見込みどおりの実績となっています。

重度障害者等包括支援については、平成25年度も利用はありませんでした。

(2) 日中活動系サービスⅠ（「第3期船橋市障害福祉計画」の28ページ）

第3期計画の見込み量と実績（上段が第3期計画の見込み量、下段の網掛け部分が実績）

| サービス | 平成24年度 | 平成25年度 | 考え方 |
|------|--------|--------|----------|
| 短期入所 | 12,047 | 12,224 | 延べ支給日数/月 |
| | 12,484 | 13,413 | |
| | 814 | 826 | 支給人数/月 |
| | 836 | 885 | |
| 療養介護 | 93 | 93 | 延べ支給日数/月 |
| | 1,020 | 1,023 | |
| | 3 | 3 | 支給人数/月 |
| | 34 | 33 | |

短期入所については延べ支給時間、支給人数ともに見込みを上回る実績となっています。

療養介護については、平成24年4月1日に施行された児童福祉法の改正の影響で、平成24年度より見込み量を大幅に上回る実績となっています。平成24年度から比較すると横ばいの実績となっています。

(3) 日中活動系サービスⅡ（「第3期船橋市障害福祉計画」の30ページ）

第3期計画の見込み量と実績（上段が第3期計画の見込み量、下段の網掛け部分が実績）

| サービス | 平成24年度 | 平成25年度 | 考え方 |
|----------------|--------|--------|----------|
| 生活介護 | 17,618 | 17,848 | 延べ支給日数/月 |
| | 16,808 | 17,666 | |
| | 766 | 776 | 支給人数/月 |
| | 764 | 803 | |
| 自立訓練 （機能訓練） | 598 | 598 | 延べ支給日数/月 |
| | 462 | 299 | |
| | 26 | 26 | 支給人数/月 |
| | 21 | 13 | |
| 自立訓練 （生活訓練） | 1,357 | 1,357 | 延べ支給日数/月 |
| | 1,434 | 1,774 | |
| | 59 | 59 | 支給人数/月 |
| | 63 | 74 | |

自立訓練（機能訓練）は見込みを下回っており、自立訓練（生活訓練）については見込みを上回っています。

自立訓練（生活訓練）の伸びについては、平成25年7月に開設したベルサポの開設が要因だと考えられます。なお、自立訓練（生活訓練）には宿泊型自立訓練も含まれています。

(4) 日中活動系サービスⅢ（「第3期船橋市障害福祉計画」の32ページ）

第3期計画の見込み量と実績（上段が第3期計画の見込み量、下段の網掛け部分が実績）

| サービス | 平成24年度 | 平成25年度 | 考え方 |
|--------|--------|--------|----------|
| 就労移行支援 | 3,496 | 3,726 | 延べ支給日数/月 |
| | 4,268 | 5,106 | |
| | 152 | 162 | 支給人数/月 |
| | 194 | 222 | |

| | | | |
|------------------------|-------|-------|----------|
| 就労継続支援 A型 (雇成型) | 621 | 736 | 延べ支給日数/月 |
| | 748 | 1,150 | |
| | 27 | 32 | 支給人数/月 |
| | 34 | 50 | |
| 就労継続支援 B型 (非雇成型) | 8,326 | 8,901 | 延べ支給日数/月 |
| | 8,206 | 9,292 | |
| | 362 | 387 | 支給人数/月 |
| | 373 | 404 | |

就労移行支援、就労継続支援A型が見込みを大きく上回っています。

就労移行支援については、平成25年5月のロクマル ジョブサ船橋みなみと平成25年8月のキャリア開発サンシャインの開設により、就労継続支援A型については、近隣他市での開設による影響で見込みを上回ったものと考えられます。

(5) 居住系サービス（「第3期船橋市障害福祉計画」の34ページ）

第3期計画の見込み量と実績（上段が第3期計画の見込み量、下段の網掛け部分が実績）

| サービス | 平成24年度 | 平成25年度 | 考え方 |
|---------------------|--------|--------|--------|
| 共同生活介護 (ケアホーム) | 210 | 220 | 支給人数/月 |
| 共同生活援助 (グループホーム) | 217 | 242 | |
| 施設入所支援 | 327 | 326 | 支給人数/月 |
| | 300 | 293 | |

グループホーム・ケアホームについては見込みを上回っています。新しく開所した大久保学園の定員10名の原宿ホーム参番館に加え、他市でも共同生活住居が増設されたためであると考えられます。

施設入所支援についてはグループホーム等の利用が増えたため、見込みを下回ったものと考えられます。

2 指定相談支援

（「第3期船橋市障害福祉計画」の36ページ）

※実績については、平成25年10月1日の数値を掲載しています。

第3期計画の見込み量と実績（上段が第3期計画の見込み量、下段の網掛け部分が実績）

| サービス | | 平成24年度 | 平成25年度 | 考え方 |
|----------------------|--------|--------|--------|--------|
| 指定 一般 相談 支援 | 地域移行支援 | 5 | 7 | 支給人数/月 |
| | | 8 | 7 | |
| | 地域定着支援 | 5 | 7 | |
| | | 0 | 0 | |
| 指定 特定 相談 支援 | 計画相談支援 | 360 | 900 | 支給人数/月 |
| | | 39 | 168 | |

指定一般相談のうち、地域移行支援は見込みどおりの実績となっており、地域定着支援は実績なしとなっております。

計画相談支援については平成27年3月末までに障害福祉サービス等を利用するすべての人についてサービス等利用計画を作成することとなっており、平成25年度においては、平成24年度に引き続き新規利用者を対象としているほか、市外の居住系のサービス事業所利用者を中心に既存の障害福祉サービス等利用者に対象を拡大しているところです。

平成24年度の時点と比較して対象者数は拡大し、平成25年10月1日現在の、全受給者2,474人に対し168人が対象となっており、対象者割合は6.79%となっております。見込み量に対して実績が下回っておりますが、引き続き、利用者への周知徹底を含めた対象者の拡大を進めてまいります。

また、計画相談支援事業の質的向上を図るため、FAS-net（船橋障害者相談支援事業所連絡協議会）において、各相談支援事業所が抱える困難事例などの検討、情報交換、制度研究、研修、広報活動などを行い、より質の高い相談支援事業をネットワークによって展開してまいります。

なお、平成26年3月時点で、相談支援事業所数は指定一般相談支援事業所が11箇所、指定特定相談支援事業所が15箇所となっております。

地域生活支援事業の見込み量と実績

（1）相談支援事業（「第3期船橋市障害福祉計画」の40ページ）

第3期計画の見込み量と実績（上段が第3期計画の見込み量、下段の網掛け部分が実績）

| 事業名 | 23年度 | 24年度 | 単位 |
|----------------|------|------|---------|
| 障害者相談支援事業 | 1 | 1 | 事業実施箇所数 |
| | 1 | 1 | |
| 地域自立支援協議会 | 1 | 1 | 事業実施箇所数 |
| | 1 | 1 | |
| 市町村相談支援機能強化事業 | 1 | 1 | 配置人数 |
| | 1 | 1 | |
| 成年後見制度利用支援事業 | 6 | 15 | 助成人数 |
| | 3 | 4 | |
| 障害児等療育支援事業 | 4 | 4 | 事業実施箇所数 |
| | 4 | 4 | |
| 子どもの発達に関する相談 | 2 | 2 | 事業実施箇所数 |
| | 2 | 2 | |
| 船橋市こども発達相談センター | 1 | 1 | 事業実施箇所数 |
| | 1 | 1 | |
| 船橋市ことばの相談室 | 1 | 1 | 事業実施箇所数 |
| | 1 | 1 | |

おおむね見込みどおりの実績といえます。

平成24年10月より、従来の相談支援業務に加え、地域における相談支援の中核的な役割を担う業務を併せて行う、基幹相談支援センター「ふらっと船橋」を設置しました。

成年後見制度利用支援事業については後見人等への報酬の助成を行った4名を対象としています。「船橋市成年後見支援センター」への平成24年度の相談件数は延べ729件となっているため、成年後見制度の必要性は高まっていると考えられます。

(2) コミュニケーション支援事業
 (「第3期船橋市障害福祉計画」の43ページ)

第3期計画の見込み量と実績(上段が第3期計画の見込み量、下段の網掛け部分が実績)

| 事業名 | 23年度 | 24年度 | 単位 |
|-----------|-------|-------|-----|
| 手話通訳者派遣事業 | 19 | 19 | 通訳者 |
| | 19 | 21 | 登録数 |
| | 1,138 | 1,213 | 派遣件 |
| | 1,185 | 1,122 | 数/年 |
| 手話通訳者設置事業 | 3 | 3 | 通訳者 |
| | 3 | 3 | 設置数 |
| | 4,255 | 4,555 | 相談件 |
| | 3,842 | 3,623 | 数/年 |
| 要約筆記者派遣事業 | 25 | 25 | 要約筆 |
| | 26 | 17 | 記者数 |
| | 545 | 557 | 派遣件 |
| | 592 | 626 | 数/年 |

おおむね見込みどおりの実績といえます。

要約筆記者派遣事業につきましては、平成23年度と比べて要約筆記者数は減少していますが、派遣件数は伸びています。

手話通訳者の派遣・設置先としては官公庁が最も多く、次いで病院となっています。要約筆記者の派遣先としては官公庁が大半を占めています。

(3) 日常生活用具給付事業（「第3期船橋市障害福祉計画」の45ページ）

第3期計画の見込み量と実績（上段が第3期計画の見込み量、下段の網掛け部分が実績）

| 用具名 | 23年度 | 24年度 | 単位 |
|-----------------------|--------|--------|--------------|
| 介護・訓練支援用具 | 21 | 21 | 延べ給付件数 ／年 |
| | 30 | 19 | |
| 自立生活支援用具 | 103 | 103 | |
| | 89 | 96 | |
| 在宅療養等支援用具 | 78 | 78 | |
| | 67 | 60 | |
| 情報・意思疎通支援用具 | 68 | 68 | |
| | 78 | 81 | |
| 排泄管理支援用具 | 10,207 | 10,513 | |
| | 10,244 | 10,567 | |
| 居宅生活動作補助用具 (住宅改修費) | 13 | 13 | |
| | 10 | 14 | |

| 用具名 | 品目 |
|-----------------------|---|
| 介護・訓練支援用具 | 特殊寝台、体位変換機、特殊マット、移動用リフト |
| 自立生活支援用具 | 火災警報器、入浴補助用具、頭部保護帽等 |
| 在宅療養等支援用具 | 盲人用体温計、酸素ボンベ運搬車、ネブライザー、透析液加温機、電気式たん吸引機等 |
| 情報・意思疎通支援用具 | 視覚障害者用拡大読書器、聴覚障害者用通信装置等 |
| 排泄管理支援用具 | ストマ用装具、特殊便器、収尿器等 |
| 居宅生活動作補助用具 (住宅改修費) | 居宅生活動作補助用具 |

おおむね見込みどおりの実績といえます。

情報・意思疎通支援用具は視覚障害者用拡大読書器の件数が伸びています。

排泄管理支援用具は、ストマ用装具が年々伸びています。

（4）移動支援事業（「第3期船橋市障害福祉計画」の47ページ）

第3期計画の見込み量と実績（上段が第3期計画の見込み量、下段の網掛け部分が実績）

| 事業名 | 23年度 | 24年度 | 単位 |
|--------|-------|-------|--------------|
| 移動支援事業 | 72 | 77 | 実施箇所数 |
| | 65 | 68 | |
| | 288 | 297 | 利用者数／ 月 |
| | 298 | 318 | |
| | 3,476 | 3,824 | 延べ利用 時間／月 |
| | 3,982 | 3,442 | |

利用者数は見込みを上回っており、延べ利用時間は見込みを下回っております。おおむね見込みどおりの実績といえます。

(5) 地域活動支援センター事業

（「第3期船橋市障害福祉計画」の49ページ）

第3期計画の見込み量と実績（上段が第3期計画の見込み量、下段の網掛け部分が実績）

| 事業名 | 23年度 | 24年度 | 単位 |
|--------------|------|------|--------|
| 地域活動支援センターⅠ型 | 1 | 1 | 実施箇所数 |
| | 1 | 1 | |
| | 103 | 103 | 利用人数／月 |
| | 101 | 110 | |
| 地域活動支援センターⅡ型 | 0 | 0 | 実施箇所数 |
| | 0 | 0 | |
| | 7 | 7 | 利用人数／月 |
| | 5 | 5 | |
| 地域活動支援センターⅢ型 | 10 | 11 | 実施箇所数 |
| | 10 | 11 | |
| | 133 | 158 | 利用人数／月 |
| | 130 | 140 | |

おおむね見込みどおりの実績といえます。

Ⅲ型については、平成24年度より市内実施箇所が1箇所増えましたが、市外のⅢ型の事業所で生活介護や就労継続支援等へ移行した事業所があったため、利用人数については見込みを下回る結果となりました。

(6) その他の事業（「第3期船橋市障害福祉計画」の52ページ）

第3期計画の見込み量と実績（上段が第3期計画の見込み量、下段の網掛け部分が実績）

| 事業名 | | 23年度 | 24年度 | 単位 |
|----------------|------|------------|------------|--------------|
| 福祉ホーム事業 | 身体障害 | 9 11 | 11 11 | 入居者数/月 |
| | 精神障害 | 0 0 | 0 0 | |
| 訪問入浴サービス事業 | | 151 139 | 308 198 | 延べ利用件数 /月 |
| 更生訓練費給付事業 | | 10 11 | 10 3 | 利用者数/月 |
| 施設入所者就職支度金給付事業 | | 1 0 | 1 3 | 給付件数/年 |
| 知的障害者職親委託事業 | | 1 1 | 1 1 | 利用者数/月 |
| 生活訓練等事業 | | 27 20 | 27 14 | 延べ利用件数 /月 |
| 日中一時支援事業 | | 280 267 | 336 308 | 利用者数/月 |
| 生活サポート事業 | | 0 | 0 | 利用者数/月 |
| | | 0 | 0 | |
| | | 0 | 0 | 延べ利用時間 /月 |
| | | 0 | 0 | |

(次ページにつづく)

| 社会参加促進事業 | | | | |
|--------------------------|-----|-----|-------------|--|
| スポーツ・レクリエーション 教室開催等事業 | 1 | 1 | 教室開催数 ／年 | |
| | 1 | 2 | | |
| 点字の広報発行事業 | 20 | 20 | 発行部数／月 | |
| | 42 | 44 | | |
| 声の広報発行事業 | 71 | 71 | 発行部数／月 | |
| | 134 | 130 | | |
| 手話通訳者養成事業 | 36 | 36 | 研修開催数 ／年 | |
| | 38 | 30 | | |
| 要約筆記者養成事業 | 27 | 27 | 研修開催数 ／年 | |
| | 27 | 27 | | |
| 自動車運転免許取得 事業 | 5 | 5 | 助成件数／年 | |
| | 7 | 3 | | |
| 自動車改造費助成事 業 | 13 | 13 | 助成件数／年 | |
| | 8 | 11 | | |

おおむね見込みどおりの実績といえます。

訪問入浴サービス事業については、平成23年度実績と比べると伸びていますが、見込みほどの伸びはありませんでした。

第4期船橋市障害福祉計画の策定と基本指針の見直しについて

現在の第3期船橋市障害福祉計画の期間が平成26年度で満了することから、来年度より平成27年度からの第4期船橋市障害福祉計画の策定に着手いたします。

障害福祉計画の策定については、国の基本指針に即して策定することとされており、現在、国において第4期の障害福祉計画のための基本指針の見直しが行われております。国から現在示されている第4期の障害福祉計画に係る基本指針案の主な内容としては、計画の作成プロセスに関する事項としてPDCAサイクルの導入や、個別施策分野の成果目標に関する事項として、引き続き福祉施設から地域生活への移行促進や福祉から一般就労への移行促進、また新規に地域生活支援拠点等の整備などが示されています。

また基本指針の告示については、4月を目処に行う予定であるとされています。